

環境測定セミナー

テーマ：最近の環境規制と環境測定法の動向

有害化学物質の新しい規制の展開に対応し、また従来項目についても分析法の更新・改良など分析技術の進展が欠かせません。環境規制の動向に目を向けつつ、現在準備されつつある分析法についての講演会。

日 時：2018年6月5日(火) 13時より

場 所：東京国際フォーラム ガラス棟 G610 (東京都千代田区丸の内3-5-1) JR有楽町駅より徒歩1分

主 催：NPO法人 環境測定品質管理センター

後 援：一般社団法人 日本環境化学会 / 一般社団法人 日本環境測定分析協会

参加費：会員（環境測定品質管理センター/日本環境化学会/日本環境測定分析協会）3,000円
非会員 5,000円

* 環境測定品質管理センター法人会員様 1名無料

* 参加費は当日受付にて現金でお支払いください

定 員：80名 * 定員になり次第締め切ります

尚、要旨集はUSBにて配布致しますのでパソコンをご持参ください

連絡先：NPO法人 環境測定品質管理センター

TEL：029-879-5516 e-mail：npo.caqc@forest.ocn.ne.jp

申込方法：メール若しくはホームページよりお申し込みください。

メールの場合件名を『6月5日セミナー申込』とし、お名前(ふりがな)・勤務先名称・所属部署・
メールアドレス・電話番号・(会員/非会員)の区別・会員の方は所属団体を明記ください。
こちらより受付番号の返信を致します。

「プログラム」

13:00～13:05	開会の挨拶 特定非営利活動法人 環境測定品質管理センター 森田昌敏氏
13:05～13:50	廃棄物におけるPCBとPOPsの分析法と精度管理について 特定非営利活動法人 環境測定品質管理センター 野馬幸生氏
13:50～14:35	大気環境等のヘキサクロロブタジエンの測定法と濃度分布特性 株式会社島津テクノリサーチ 高菅卓三氏
14:35～14:40	(休憩5分)
14:40～15:25	土壌汚染対策法：改定と分析法の動向 国立研究開発法人 国立環境研究所 客員研究員 佐々木裕子氏
15:25～15:55	環境水の規制と分析法の展開 環境省 水・大気環境局 水環境課 出水孝征氏
15:55～16:40	流れ分析法による分析の自動化 横浜国立大学名誉教授 中村栄子氏